

2015年2月25日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社

## メディカゴ社 エボラ抗体の代替製法の開発に関する 米国政府との契約締結について

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之）は、このたび、当社連結子会社であるメディカゴ社（Medicago Inc., 本社：カナダ・ケベック市 CEO: アンディ・シェルドン）が、同社の植物によるタンパク質産生および精製技術を用いたエボラ抗体の代替製法の開発について、米国保健福祉省傘下の公的機関である Biomedical Advanced Research and Development Authority（以下 BARDA）との間で契約を締結し発表しましたので、お知らせします。

国際社会にとって大きな脅威となったエボラ出血熱に対して、有効な治療法、医薬品、ワクチン等は未だ存在せず、新規の治療法が待ち望まれています。このような状況の中、マップ・バイオフィーマシューティカル社（Mapp Biopharmaceutical Inc., 本社：米国サンディエゴ）が開発中の ZMapp<sup>™</sup>はエボラ出血熱に対する治療手段として期待されています。この度、メディカゴ社は、植物を用いたタンパク質産生、抽出、精製に関する独自技術が米国政府に認められ、本契約では ZMapp<sup>™</sup>に用いられているエボラ抗体の代替製法を検討し、生産性拡大にむけたプロセスの開発および非臨床試験用抗体の製造を行っていきます。

参考資料：メディカゴ社リリース（和訳）

以 上

《 本件に関するお問い合わせ先 》  
田辺三菱製薬株式会社 広報部  
TEL：06-6205-5211（本社）  
TEL：03-6748-7664（東京本社）

参考資料：メディカゴ社リリース（和訳）

## メディカゴ社 エボラ抗体の代替製法の開発に向けて

### 米国保健福祉省と契約締結

**カナダ ケベック（2015年2月24日）** ----- 植物を用いたワクチンおよび治療法の開発・製造に関するリーディングカンパニーであるメディカゴ社は、このたび、米国保健福祉省（U.S. Department of Health and Human Services: HHS）の生物医学先端研究開発局（Biomedical Advanced Research and Development Authority: BARDA）から、マップ・バイオフーマシューティカル社の ZMapp と同等の効果を有することが期待されるエボラウイルスに対する 3 種のモノクローナル抗体について、タスクオーダーを受領しましたことをお知らせします。

メディカゴ社は、ヒト以外の霊長類での試験用に、これらの抗体をカナダ・ケベック市の施設で製造します。抗体のうち 2 種類はカナダ公衆衛生庁（Public Health Agency of Canada: PHAC）により見出されたものです。この要請は、2014年12月22日に BARDA から求められた Task Order Request (TOR) から生じたものであり、メディカゴ社とアメリカ国防高等研究計画局（Defense Advanced Research Projects Agency: DARPA）との間における納期/数量不確定型契約（Indefinite Delivery/Indefinite Quantity: ID/IQ）の一部です。

#### エボラウイルス撲滅に対する国際的な取り組みへの参画

メディカゴ社は、エボラウイルス撲滅に対する国際的な取り組みに参画します。メディカゴ社は、これらエボラ抗体が ZMapp と同等の効果を有することを示すつもりです。

メディカゴ社の CEO であるアンディ シェルドンは次のように述べています。「メディカゴ社は 2009 年に H1N1 型、2013 年に H7N9 型インフルエンザの候補ワクチンを製造し、その生産基盤が国際的な緊急事態やパンデミックに対し重要な可能性を有することを示してきました。世界中でパンデミックインフルエンザやエボラウイルスのような脅威が続くことが懸念されます。我々は、これら脅威に素早く対応し、高い生産能力と貯蔵能力により世界中に貢献できると考えます。」

予備検討の結果では、メディカゴ社の技術がエボラ抗体を早く大量に製造し、世界規模に供給できる可能性が示されました。

なお、本 TOR は、連邦調達規則（FAR 16.505(b)(1)）に従い、DARPA との ID/IQ を締結した 4 者が競い合うことを許可しています。メディカゴ社の ID/IQ は、2012 年 12 月に締結されました。

#### メディカゴ社について

メディカゴ社は、世界的な感染症に幅広く対応する新規ワクチンや治療用タンパク質を開発するバイオ製薬会社です。メディカゴ社は、独自の VLP と製造技術に基づき、高い効果を有し競争力のあるワクチンや治療用タンパク質を供給することに注力しています。メディカゴ社の技術は、スピードとコストの面で競合する他の技術を凌いでおり、遺伝子

配列の同定から約一カ月で試験用製品を開発することが出来ます。これは、迅速な予防接種や治療を可能にし、そして世界的に十分な量を供給できる可能性を有しています。

### **BARDA** について

米国生物医学先端研究開発局（BARDA）は、アメリカ保健福祉省の事前準備対応次官補局（Assistant Secretary for Preparedness and Response: ASPR）にあり、公衆衛生上の緊急事態の際、必要なワクチン・医薬品・治療法・診断薬の開発および購入するためのアプローチを提供する機関です。

\*この資料は、メディカゴ社が 2015 年 2 月 24 日（現地時間）に公表したリリースを日本語に翻訳したものです。参考資料として添付しておりますので、内容および解釈につきましては英語が優先されます。英語版は <http://www.medicago.com/> をご参照ください。

以上